

1. 位置と地勢

(1) 那珂市の位置

本市は、東京から北東に約 100 km の距離にあり、茨城県の中央よりやや北に位置しています。県都水戸市の北側に位置し、東側は日立市・ひたちなか市・東海村、西側は城里町、北側は常陸太田市・常陸大宮市と、7つの市町村と接しています。

市内は、国道 6 号の他、国道 349 号と国道 118 号が南北に縦断し、水戸市をはじめとする周辺都市との連携が確保されています。

また、市の中央部に常磐自動車道那珂 I C、東端に東海スマート I C があり、高速道路による広域へのアクセスも可能となっています。

鉄道に関しては水郡線が通っており、市内に 9つの駅が設置され、上菅谷駅は常陸太田線と常陸大子線の分岐駅としての役割を担っています。

図－那珂市の位置



図－那珂市の地形

(2) 地 形

地形としては、市の北東側には福島県と茨城県の境である八溝山を源流とする久慈川、西側には栃木県の那須岳を源流とする那珂川と 2つの河川が流れており、その周辺は低地となり水田地帯となっています。

また、市の中央部は那珂台地が広がっており、台地と低地の境には斜面林が形成されています。



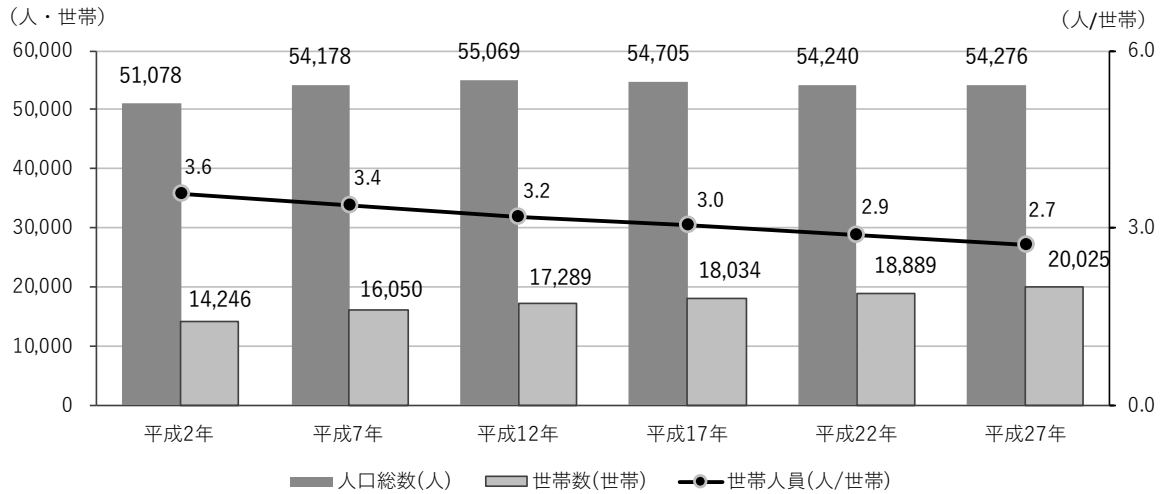
2. 人口と世帯数

(1) 人口及び世帯数の推移

本市の人口は、2000年（平成12年）まで増加してきましたが、2000年（平成12年）以降緩やかな減少に転じ近年は微減傾向にあります。一方で世帯数については増加傾向を示します。

世帯人員については、2015年（平成27年）に2.7人/世帯で、1990年（平成2年）に比べ1世帯で約1人減少しています。

図－人口及び世帯数の推移

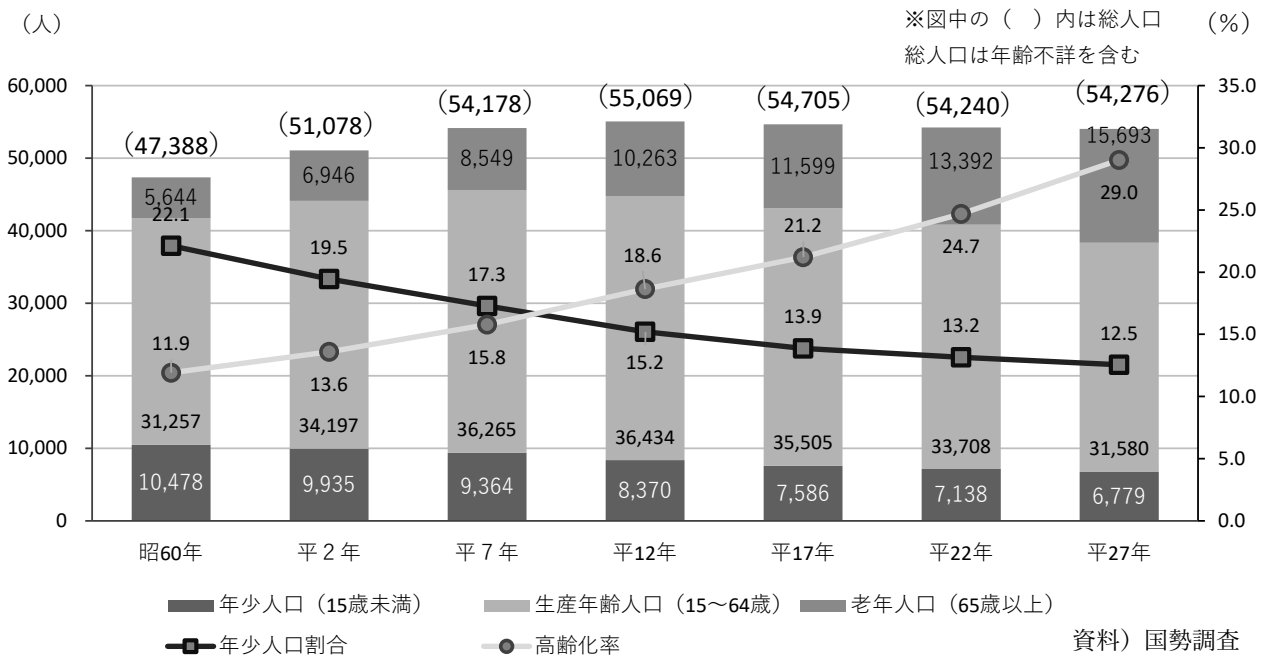


資料) 国勢調査

(2) 年齢3区分人口

年齢3区分人口をみると、生産年齢人口は2000年（平成12年）をピークに減少傾向が続いており、年少人口も緩やかな減少が続いています。一方、老年人口は、約3.5%/年で増加を続けており、2000年（平成12年）には年少人口よりも多くなっています。

図－年齢3区分人口

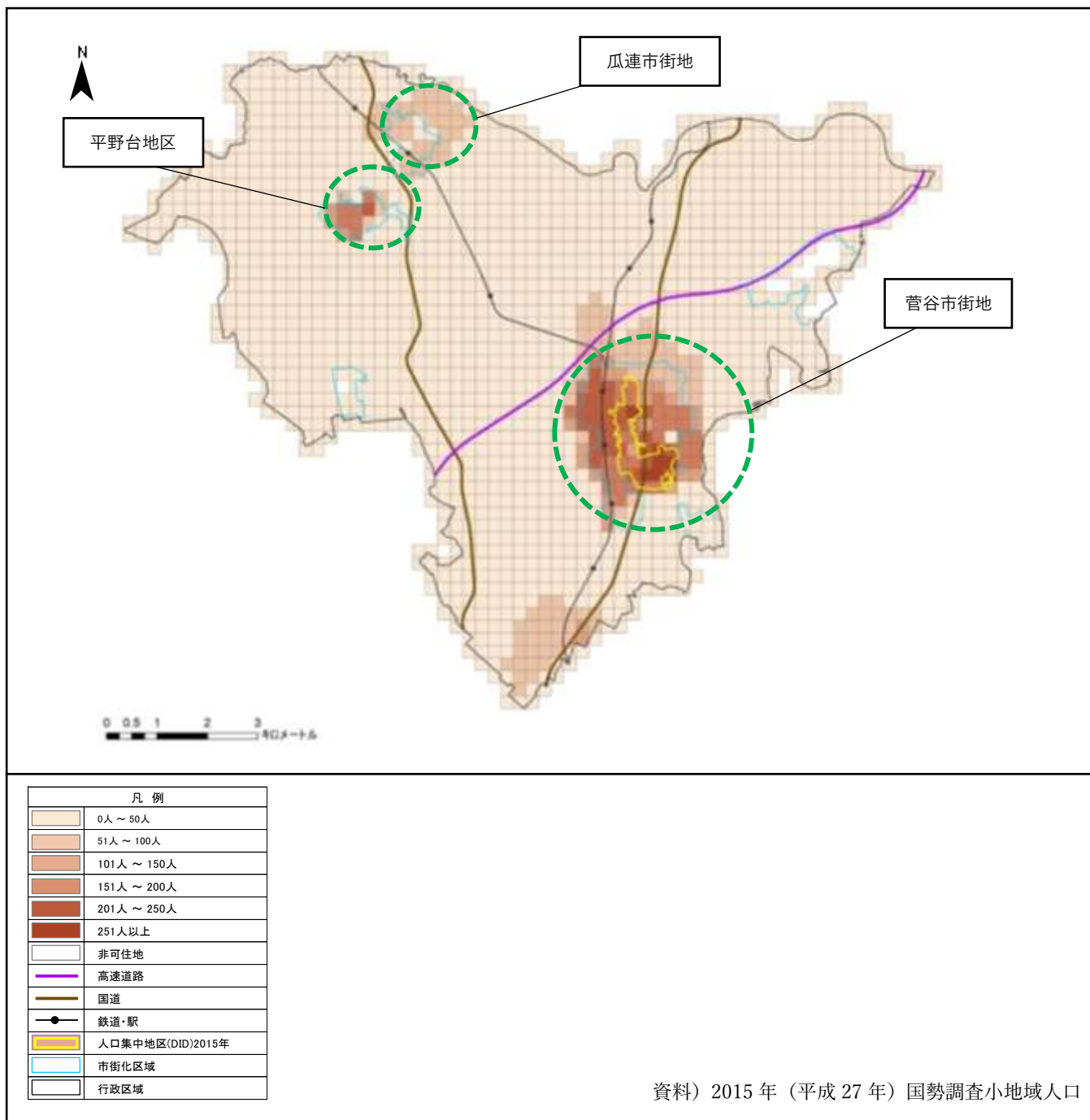


資料) 国勢調査

(3) 人口分布

2015年（平成27年）国勢調査小地域人口から、メッシュ解析による人口分布をみると、本市の人口は、市街化区域である菅谷市街地に集積しており、一部（116ha）が人口集中地区（DID）となっているほか、瓜連市街地及び平野台地区に集積しています。

図－人口分布



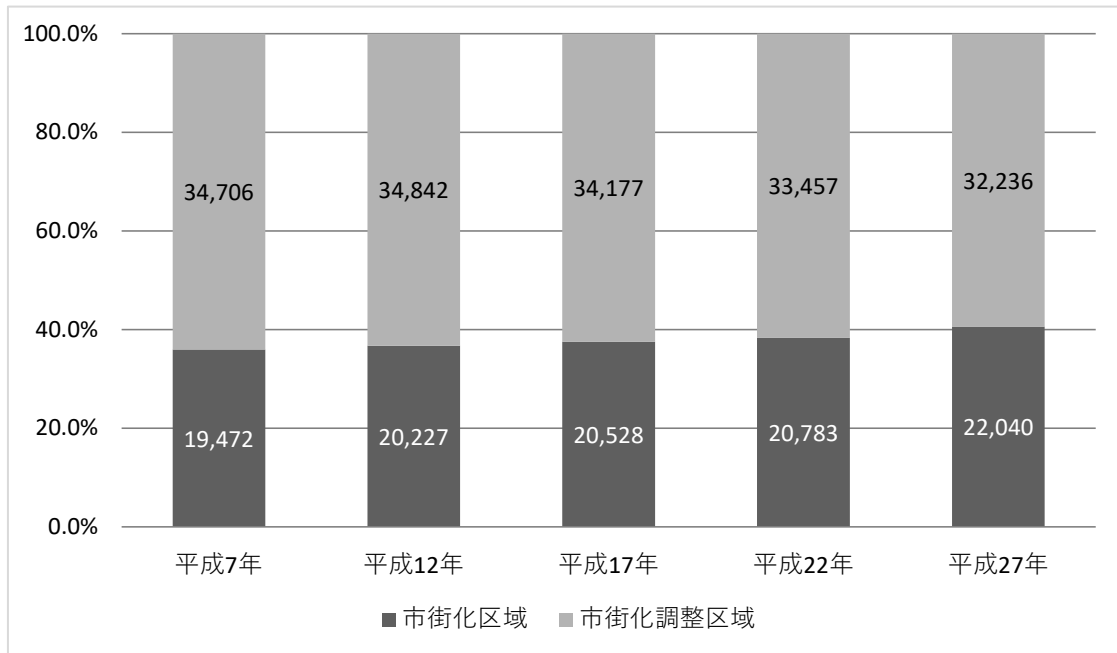
※人口集中地区（DID）

統計データに基づいて一定の基準により設定され、2000年（平成12年）国勢調査では、国勢調査基本単位区等を基本単位として、1. 「原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上（40人/ha）の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接」して、2. 「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」とされた。

(4) 区域区分別の人口

区域区分別の人口をみると、2015年（平成27年）の国勢調査ベースの推計で、総人口の約4割にあたる22,040人が市街化区域に居住しており、1995年（平成7年）以降市街化区域への誘導が進んでいる状況となっています。

図－区域区分別人口の推移



資料) 那珂市都市計画基礎調査から作成

表－区域区分別人口の推移

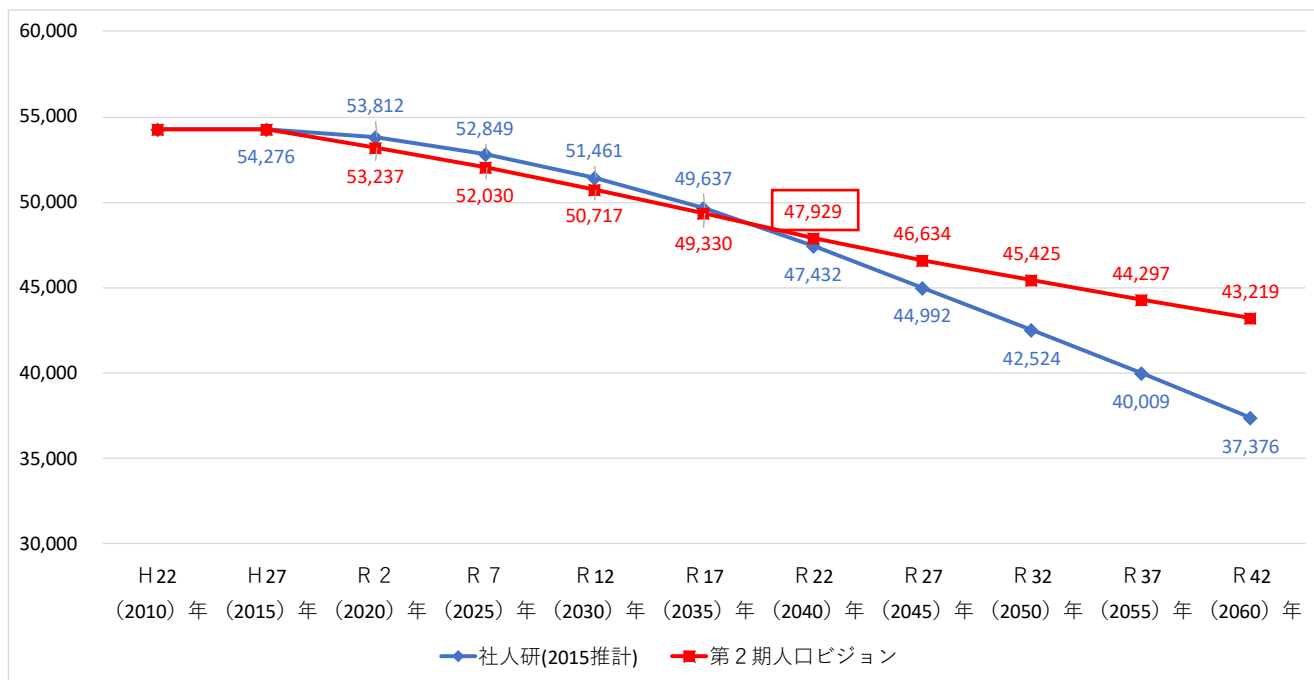
区 分	1995年 (平成7年)	2000年 (平成12年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)
行政区域(都市計画区域)	54,178	55,069	54,705	54,240	54,276
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市街化区域	19,472	20,227	20,528	20,783	22,040
	35.9%	36.7%	37.5%	38.3%	40.6%
市街化調整区域	34,706	34,842	34,177	33,457	32,236
	64.1%	63.3%	62.5%	61.7%	59.4%

資料) 那珂市都市計画基礎調査から作成

(5) 将来人口

第 2 期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020 年（令和 2 年）5 月）では、2040 年（令和 22 年）の目標人口を 48,000 人程度とすることとしています。

図－将来人口推計



資料) 第 2 期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略
2020 年（令和 2 年）5 月

3. 都市計画

(1) 区域区分及び用途地域

本市は、水戸・勝田都市計画区域に指定され、行政区域(9,782ha)と都市計画区域が同一となっています。1971年(昭和46年)3月15日に区域区分の都市計画決定を行い、都市計画区域の約10%にあたる976haが市街化区域に指定されています。市街化区域は大きく菅谷地区、瓜連地区に指定され、10種類の用途地域が指定されています。

表－用途地域一覧

種 類	面 積	比 率	建ぺい率	容積率
第一種低層住居専用地域	431.0ha	44.2%	40%	80%
			50%	100%
第二種低層住居専用地域	7.0ha	0.7%	40%	80%
第一種中高層住居専用地域	21.0ha	2.2%	60%	200%
第二種中高層住居専用地域	0.0ha	0.0%	—	—
第一種住居地域	148.0ha	15.2%	60%	200%
第二種住居地域	15.0ha	1.5%	60%	200%
準住居地域	29.0ha	3.0%	60%	200%
田園住居地域	0.0ha	0.0%	—	—
近隣商業地域	15.0ha	1.5%	80%	200%
商業地域	0.0ha	0.0%	—	—
準工業地域	15.0ha	1.5%	60%	200%
工業地域	50.0ha	5.1%	60%	200%
工業専用地域	245.0ha	25.1%	60%	200%
合 計	976.0ha	100.0%	—	—

2019年(平成31年)3月31日現在
資料) 那珂市都市計画課

(2) 地区計画

地区計画は、建築物の用途や形態、地区施設の配置及び規模等を定め、用途地域を補完しながら、良好な環境づくりを進める制度で、本市では、以下の3地区で定められています。なお、地区計画は、既存集落や既存開発の維持・活性化、計画的開発の誘導等を目的として、市街化調整区域での決定も可能ですが、本市では現時点では決定していません。

表－地区計画一覧

地区名	面積	地区計画の方針
上菅谷駅前地区	約 5.9ha	上菅谷駅前地区は、JR水郡線上菅谷駅の東側に位置する本市の市街地であり、土地区画整理事業による生活基盤の整備を行うと共に、まちづくりのルールである地区計画により、市の顔となる魅力ある生活拠点の形成を目指します。
杉原地区	約 28.0ha	杉原地区は、JR水郡線上菅谷東部に位置する既成市街地であり、幅員4m道路に満たない生活道路が多く、安全上や防災上からみて危険な状態にあります。そこで、今後は、安全・安心なまちづくりを実現するため、街区道路の計画的な配置や秩序ある建築物の誘導によりゆとりある良好な生活環境整備を進めます。
下菅谷地区	約 61.0ha	下菅谷地区は、JR水郡線下菅谷駅の東側に位置する既成市街地であり、幅員4mに満たない生活道路が多く、安全上や防災上からみて危険な状態にあります。そこで今後は、安全・安心なまちづくりを実現するため、街区道路の計画的な配置や秩序ある建築物の誘導によりゆとりある良好な生活環境整備を進めます。

資料) 那珂市都市計画課

(3) 都市計画道路

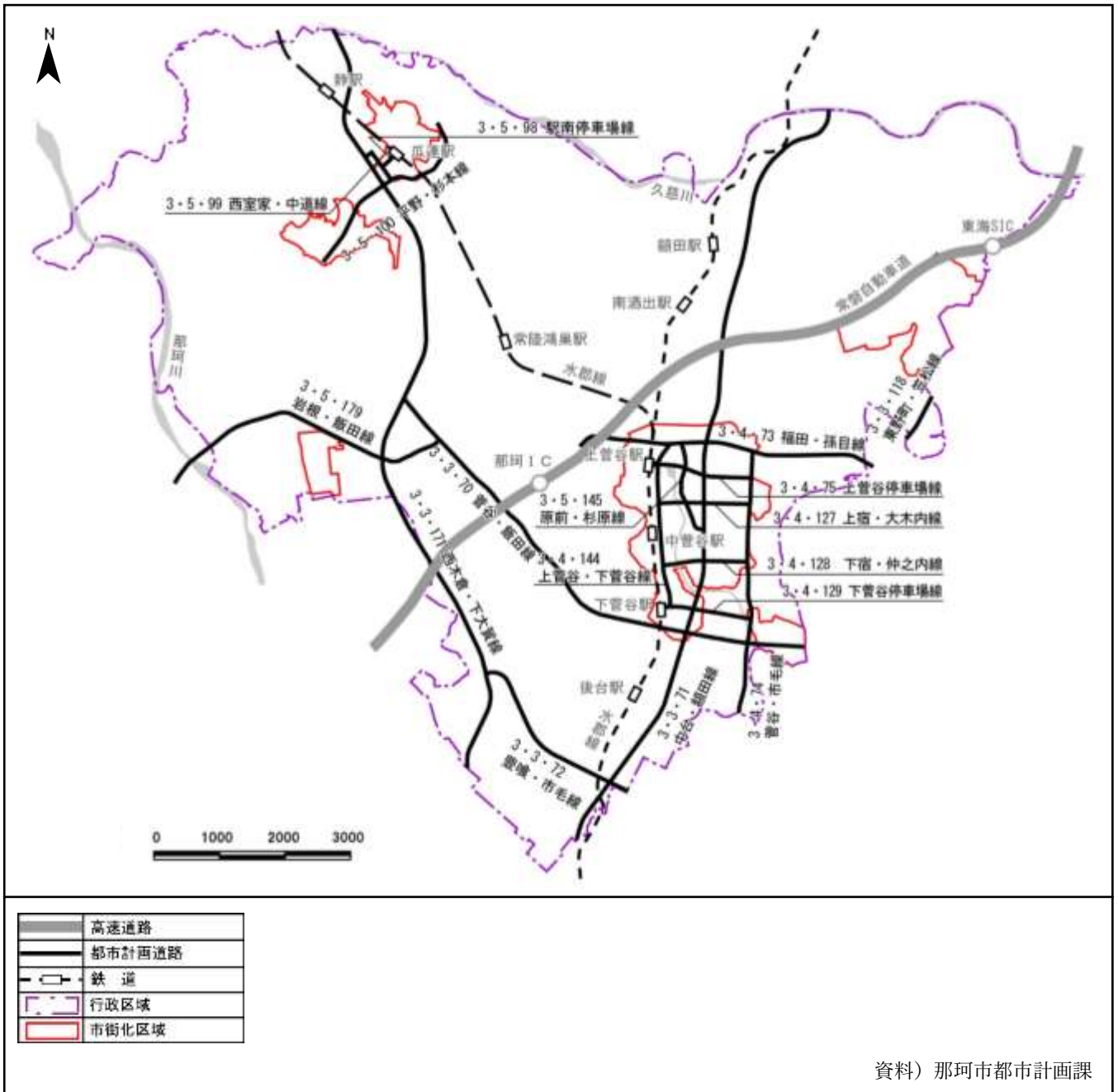
都市計画道路については、17 路線が都市計画決定されており、2020 年（令和 2 年）3 月 31 日現在の整備率は 71.9%となっています。

表－都市計画道路一覧（2020 年（令和 2 年）3 月 31 日現在）

路線名称	幅員	延長	最終決定日	整備率	備考
3・3・70 菅谷・飯田線	25m 27m	7,450m	H11.6.10	50.3%	バードライン供用 L=3,750m
3・3・71 中台・額田線	22m	12,110m	H2.11.15	100.0%	国道 349 バイパス
3・3・72 豊喰・市毛線	22m	3,110m	H9.4.28	100.0%	県道那珂湊那珂線
3・4・73 福田・孫目線	16m	4,390m	S54.1.16	100.0%	県道瓜連馬渡線
3・4・74 菅谷・市毛線	16m	3,950m	H2.11.15	79.7%	
3・4・75 上菅谷停車場線	16m 25m	1,540m	H13.9.3	49.4%	3,000m ² の駅前広場
3・3・118 東野町・笠松線	25m	770m	H12.8.7	100.0%	国道 6 号全体延長 18,810m
3・4・127 上宿・大木内線	16m	1,400m	H2.11.15	100.0%	
3・4・128 下宿・仲之内線	16m	1,280m	S63.7.25	0.0%	
3・4・129 下菅谷停車場線	16m	1,320m	H2.11.15	15.2%	2,000m ² の駅前広場
3・4・144 上菅谷・下菅谷線	16m	2,540m	H2.11.15	56.2%	旧太田街道 県道瓜連馬渡線
3・5・98 駅南停車場線	15m	230m	H16.1.19	100.0%	3,600m ² の駅前広場
3・5・99 西室家・中道線	12m	630m	H9.4.28	39.7%	
3・5・100 平野・杉本線	12m	3,110m	H10.10.12	99.7%	平野台団地内供用 L=2,530m
3・5・145 原前・杉原線	12m	1,420m	H2.10.25	100.0%	
3・3・171 西木倉・下大賀線	28m	10,920m	H9.4.28	29.3%	国道 118 号バイパス
3・5・179 岩根・飯田線	15m	3,890m	H11.6.10	100.0%	県道城里那珂線
計	17 路線	60,060m		71.9%	

資料）那珂市都市計画課

図一 都市計画道路網図



(4) 区域指定

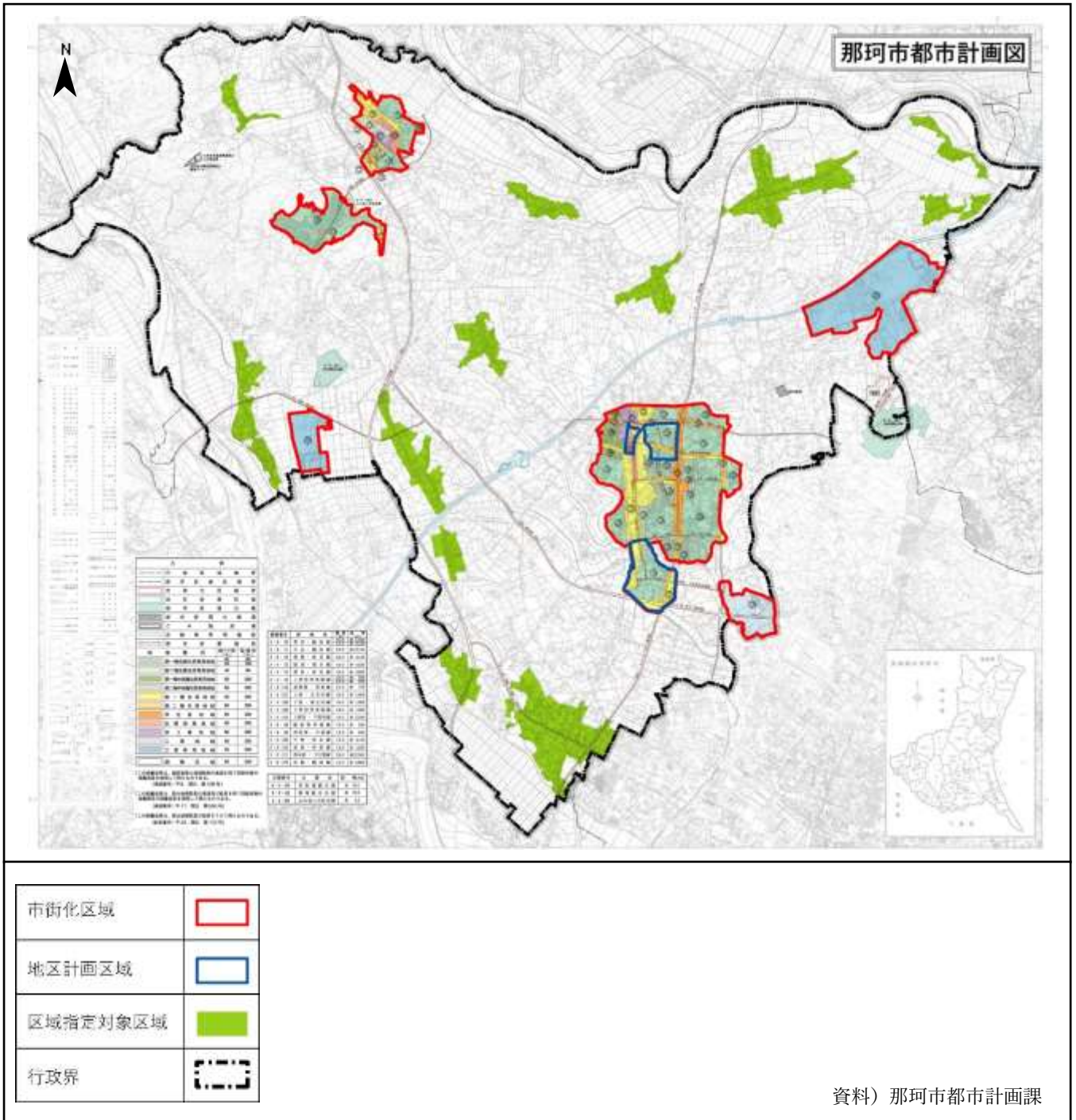
区域指定制度は、開発許可制度の立地基準について、市が指定した区域内で、申請者の出身要件等を問うことなく、住宅等、一定の建築物の建築を目的とした許可を受けることが可能となる制度であり、本市では、都市計画法第 34 条 12 号区域を 14 地区、590ha 指定しています。

表一区域指定一覧（2020 年（令和 2 年）3 月 31 日現在）

集落番号	集落名	区分	大字	区域面積
12-1	静地区	沿道型集落	静	18ha
12-2	門部地区	沿道型集落	門部	29ha
12-3	南酒出地区	沿道型集落	南酒出	36ha
12-4	額田地区	沿道型集落	額田南郷	95ha
			額田東郷	
			額田北郷	
12-5	四堰地区	独立型集落	本米崎	22ha
12-6	加納・海後地区	独立型集落	本米崎	27ha
12-7	戸地区	沿道型集落	戸	60ha
12-8	鴻巣地区	沿道型集落	鴻巣	39ha
12-9	飯田地区	沿道型集落	飯田	64ha
12-10	豊喰地区	沿道型集落	豊喰	25ha
12-11	西木倉地区	沿道型集落	西木倉	33ha
12-12	東木倉地区	沿道型集落	東木倉	26ha
12-13	中台地区	沿道型集落	中台	89ha
12-14	中台・津田地区	沿道型集落	中台	27ha
			津田	
14 集落				590ha

資料) 那珂市都市計画課

图一 市街化区域・地区計画区域・区域指定位置图



(5) 市街地整備状況

① 土地区画整理事業

土地区画整理事業は、4 地区、61.8ha で施行されており、全ての事業が住居系開発となっています。

表 - 土地区画整理事業一覧

地区名	事業主体	事業種別	総面積 (ha)	計画		事業着手 (年月日)	事業完了 (年月日)
				戸数(戸)	人口(人)		
みの内地区	組合施行	住居系	16.1	481	1,300	S57.7.1	S62.3.31
東組第 1 工区	組合施行	住居系	1.5	44	120	S62.8.31	H1.3.31
竹ノ内地区	組合施行	住居系	38.3	1,000	2,700	H3.5.9	H21.3.31
上菅谷駅前地区	行政庁施行	住居系	5.9	87	235	H14.10.4	H31.3.31

資料) 2015 年 (平成 27 年) 那珂市都市計画基礎調査

② 開発行為

2015 年 (平成 27 年) に実施した那珂市都市計画基礎調査によると、開発行為のうち、市街化区域内で実施されているものは、91 地区、104.3ha であり、このうち、住居系開発は 50 地区、47.4ha となっています。

(6) 土地利用状況

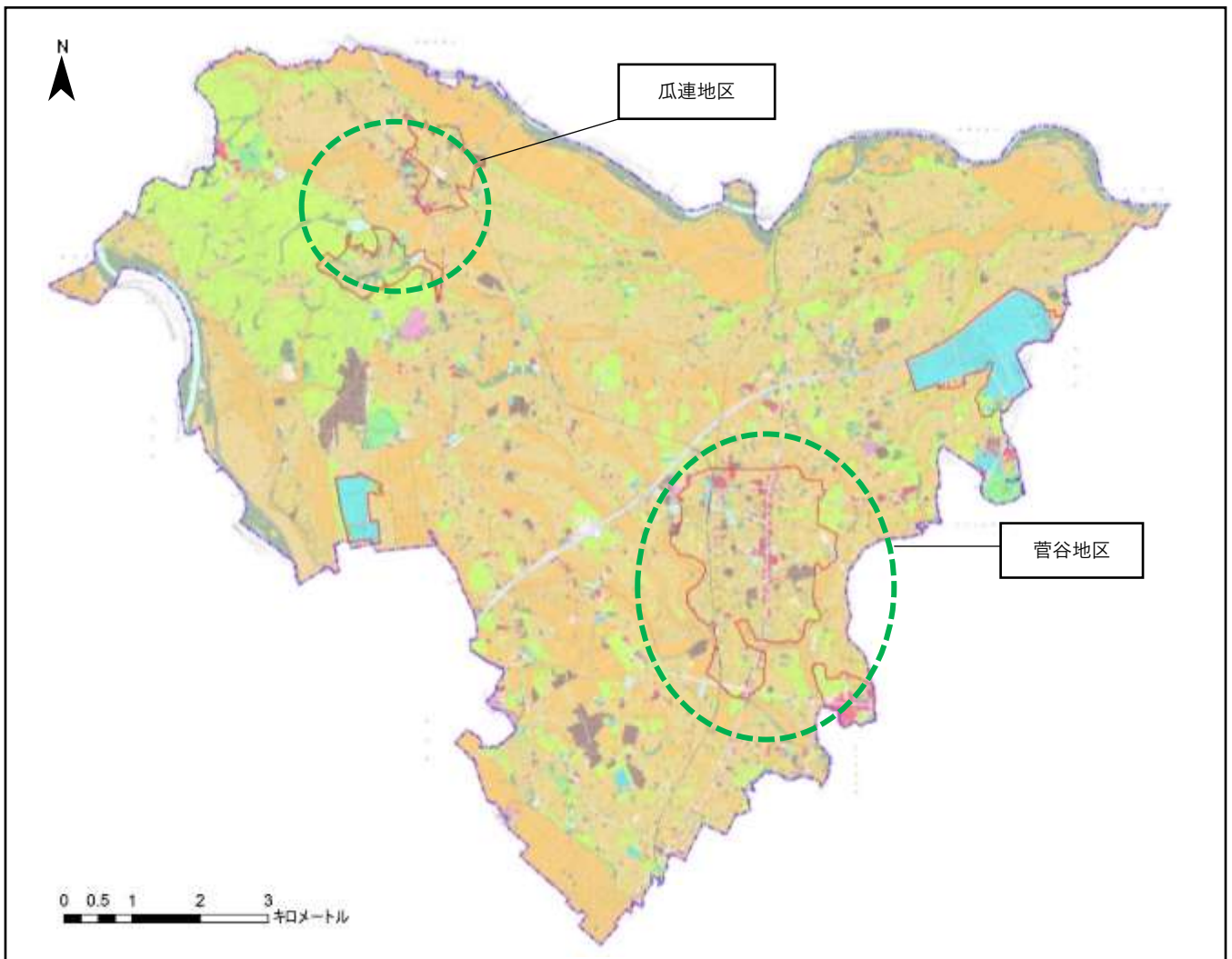
①土地利用の状況

本市の総面積は9,782haであり、地目別土地利用では、農地（田畑）が約半数を占め、次いで山林、宅地の順になっています。

なお、本市の全域が都市計画区域に指定されており、商業、居住エリアは、市街化区域である南東部の菅谷地区、北西部の瓜連地区(瓜連市街地、平野台地区、中里地区を含む)に集中しています。

また、北東部の向山地区、南西部の那珂西部地区は、産業系の市街化区域に指定されています。

図－土地利用現況



土地利用区分	地目	備考	表示方法
自然的土地利用	農地	田	水田
		畑	畑・果樹園
	山林		
	原野・荒地・牧野		
水面		河川、湖沼、汽水池等	
その他(海浜等)			
基作的土地利用	住宅用地		一般住宅、共同住宅
	併用住宅用地		店舗併用住宅、作業併用住宅
	商業用地		業務商店、店舗、飲食施設、宿泊施設、娯楽施設、娯楽・娯楽施設
	工業用地		工場、研究所
運輸施設用地		飛行場、港湾、倉庫、ターミナル	
公共用地		官庁庁舎、駅前広場施設	

土地利用区分	地目	備考	表示方法
都市的土地利用	宅地区域		学校、病院、図書館、市民館等 緑地施設
	公園・緑地		公園・広場・緑地、運動場
	公共用地		
	その他の空地		高層ビル等、河川沿岸の空地 置かれた用地
	ゴルフ場		
	防衛用地		自衛隊施設、米軍基地施設
	道路用地		幅員4m以上の道路、農道、林道
	鉄道用地		鉄道線内、駅舎等
	駐車場用地		両側・中央式、等の駐車場
	都市計画区域		
市街化区域			

資料) 2015年(平成27年)那珂市都市計画基礎調査

②市街化区域内の未利用地等の状況

市街化区域内の農地※、未利用地※、大規模低利用地※については、9箇所、48.4ha となっています。

表－市街化区域内農地・未利用地及び大規模低利用地の状況

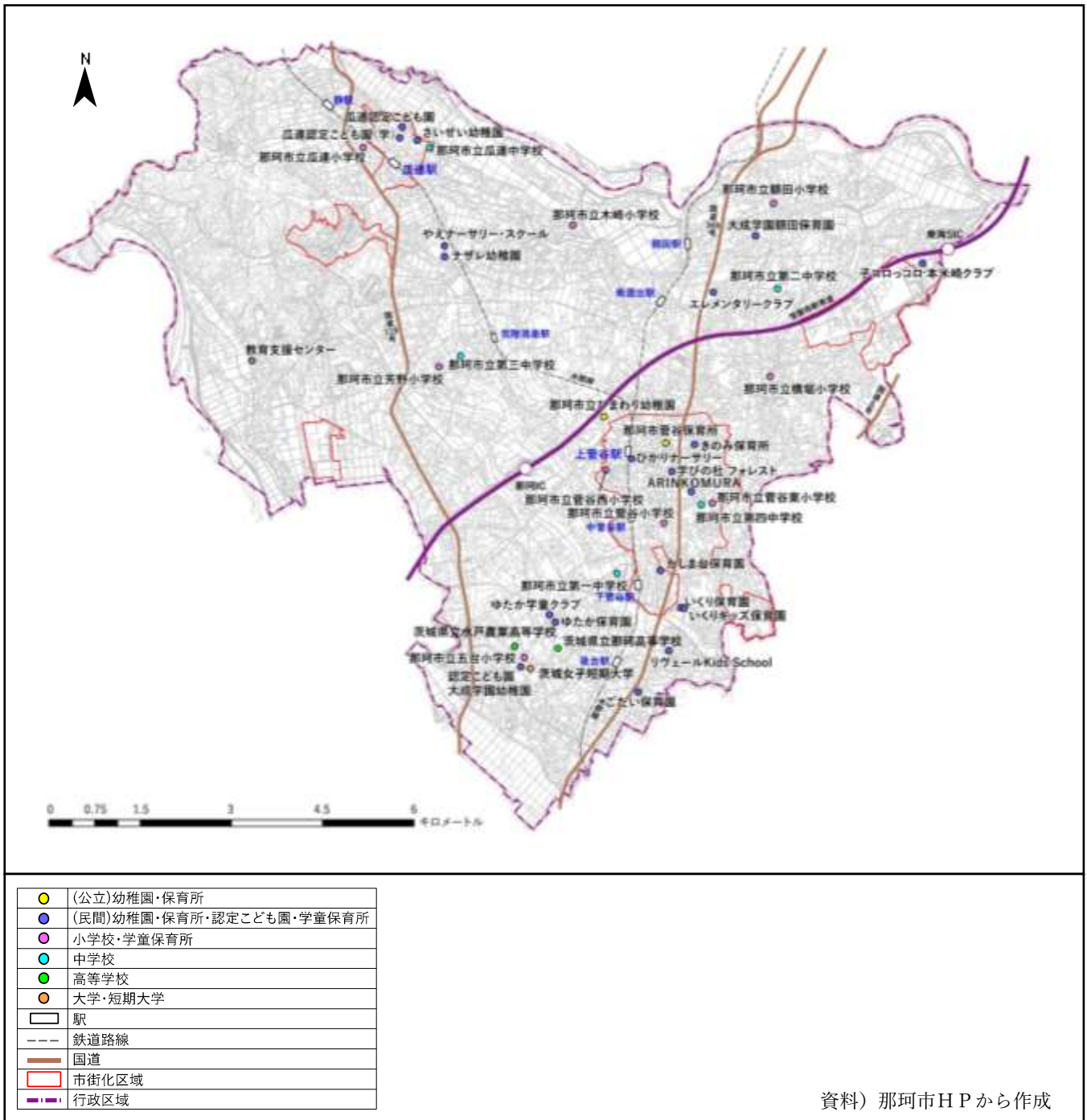
未利用地の区分	規 模											
	1ha 以上 2ha 未満		2ha 以上 5ha 未満		5ha 以上 10ha 未満		10ha 以上 20ha 未満		20ha 以上		合計	
	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
農地	0	0.0	6	19.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	19.5
未利用地	0	0.0	0	0.0	2	15.7	1	13.2	0	0.0	3	28.9
大規模低利用地	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	0	0.0	6	19.5	2	15.7	1	13.2	0	0.0	9	48.4

資料) 2015 年(平成 27 年)都市計画基礎調査

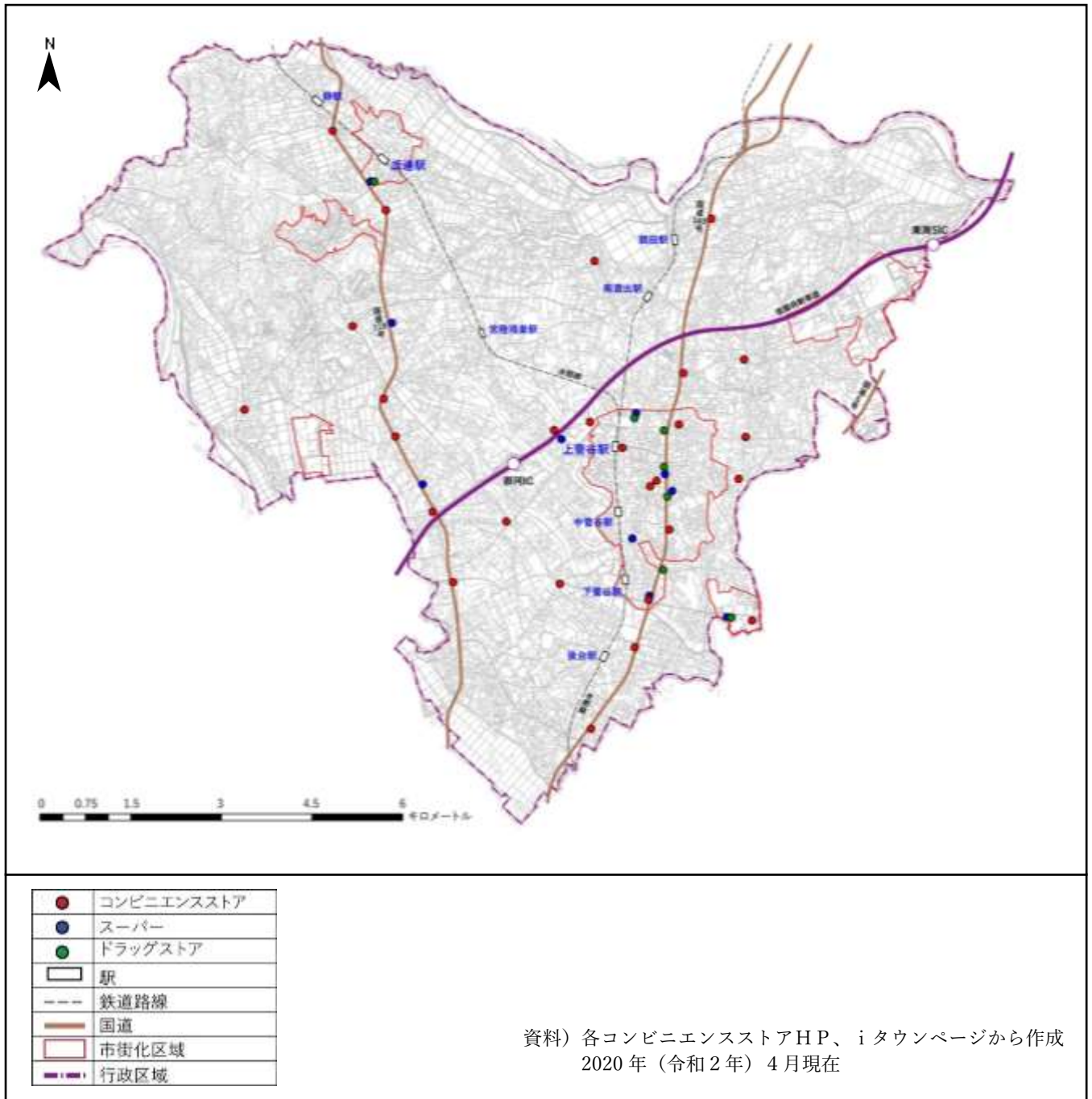
※市街化区域内農地は 2 ha 以上、未利用地は 5 ha 以上、大規模低利用地は 1 ha 以上のものが対象。

※大規模未利用地については、都市計画基礎調査結果について、瓜連駅北側の大規模低利用地の整序が行われたことをもとに修正。

図－教育・保育施設立地状況図



図－商業施設立地状況図



立地適正化計画における誘導施設としての商業機能は、「時間消費型のショッピングニーズなど、様々なニーズに対応した買い物、食事を提供する機能」や「日々の生活に必要な生鮮品、日用品等の買い回りができる機能」と定義づけられており、本市においてはコンビニエンスストア、スーパーマーケット及びドラッグストアを抽出対象とします。

コンビニエンスストアについては、飲食品や日用品の買い回りができるほか、ATMや公共料金の支払いなどを複合的に取り扱う商業施設で、立地適正化計画作成の手引きにおいても商業施設の抽出対象例として挙げられており、ドラッグストアについては、その他に医薬品などを取り扱う、日常生活に密着した買い物の場となっていることから、抽出対象とします。

表－商業施設一覧

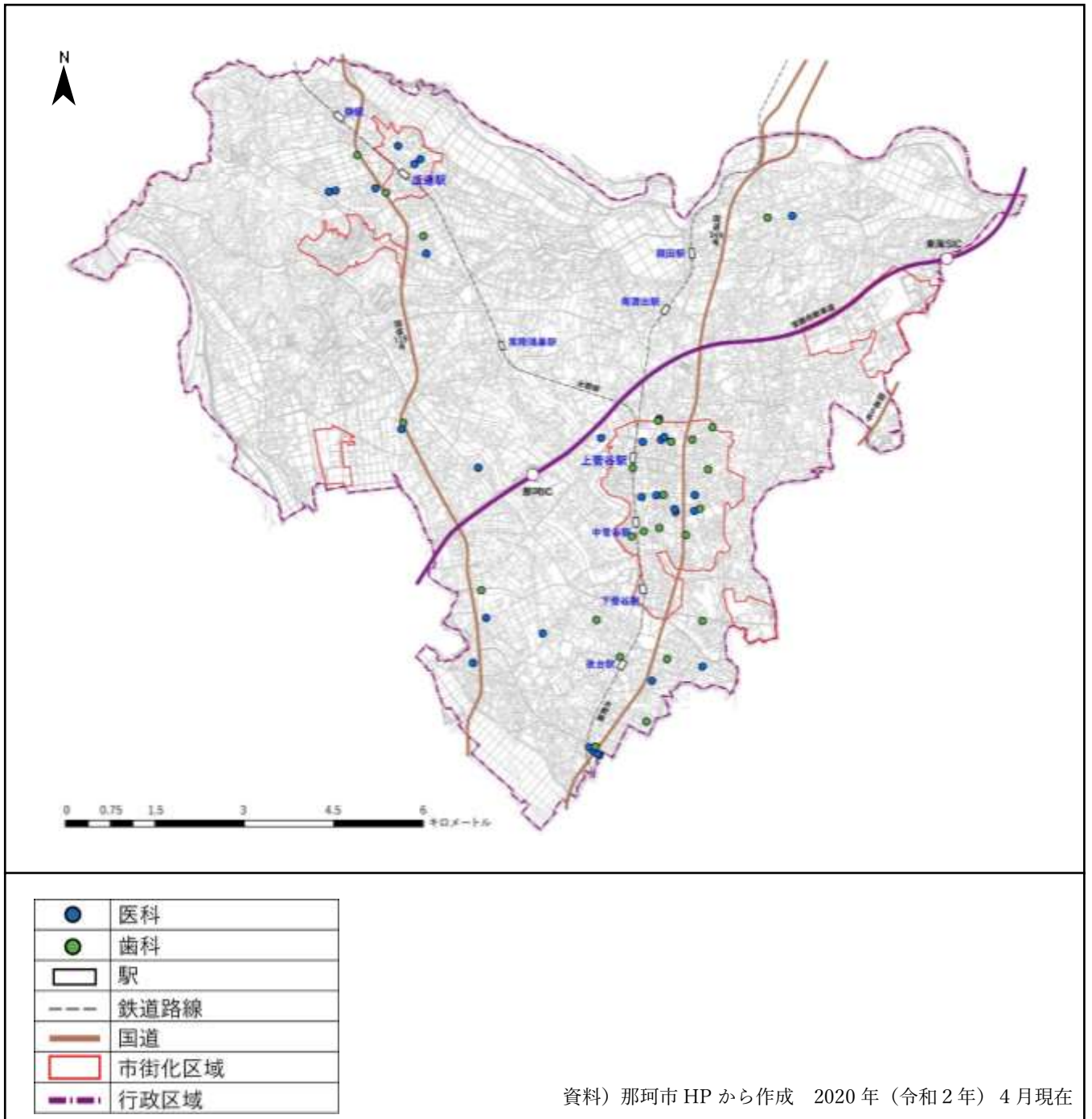
No.	名 称	No.	名 称
1	かわねや菅谷店	23	セブンイレブン那珂中里店
2	イオン那珂町店	24	セイコーマート那珂後台店
3	(株)カスミ瓜連店	25	セイコーマート那珂戸店
4	(株)カスミ/フードスクエア那珂店	26	たつみや
5	(株)カスミ/フードオフ・ストッカー サンモリノ那珂店	27	ファミリーマート那珂横堀店
6	業務スーパー那珂店	28	ファミリーマート那珂飯田五差路店
7	K マート菅谷店	29	ファミリーマート那珂飯田店
8	(株)スーパーヒロセヤ那珂店	30	ファミリーマート那珂インター店
9	(株)マルト SC 那珂店	31	ファミリーマート那珂瓜連店
10	グラントマト那珂店	32	ファミリーマート那珂竹ノ内店
11	セブンイレブン那珂飯田店	33	ファミリーマート那珂堤店
12	セブンイレブン那珂上菅谷店	34	ファミリーマート那珂菅谷中央店
13	セブンイレブン那珂菅谷店	35	ファミリーマート那珂南郷店
14	セブンイレブン那珂杉店	36	ミニストップ那珂堤店
15	セブンイレブン那珂中央店	37	ミニストップメガガイヤ那珂店
16	セブンイレブン那珂戸崎店	38	(株)カワチ薬品那珂店
17	セブンイレブン那珂中台店	39	(株)カワチ薬品サンモリノ那珂店
18	セブンイレブン那珂堀ノ内店	40	ツルハドラッグ那珂竹ノ内店
19	セブンイレブン那珂後台店	41	ウエルシア那珂瓜連店
20	セブンイレブン那珂酒出店	42	ウエルシア那珂竹ノ内店
21	セブンイレブン那珂市役所前店	43	くすりのマルトパワードラッグ那珂店
22	セブンイレブン那珂豊喰店	44	ドラッグストアトライウエル那珂店

表一 高齢者福祉施設一覧

No.	名称	業務体系	
1	ケアプランセンターぼっかぼか	居宅介護支援事業所	
2	のぞみ居宅介護支援事業所		
3	ケアプランセンターえくぼ		
4	那珂社協居宅介護支援事業所		
5	居宅介護支援事業所 ゆかた		
6	居宅介護支援事業所 クリクリ		
7	ケアプランセンター けいわ		
8	ナザレ園居宅介護支援事業所		
9	ウエルシア介護サービス 那珂		
10	ひばりヶ丘居宅介護支援事業所		
11	ケア・サポート うりづら		
12	居宅介護支援事業所 ケアセンター那珂		
13	居宅介護支援事業所 なみき		
14	あい・ねもと薬局ケアプランセンター		
15	居宅介護支援事業所フェニックス那珂		
16	いきり苑那珂 居宅介護支援事業所		
17	ケアセンターライブラリーライフ那珂		
18	居宅介護支援事業所 はる風		
19	ケアプランセンターいきいき		
20	ふくらケアプランセンター		
21	地域包括支援センター青燈会 (神崎・菅谷地区)	介護予防支援事業所(地域包括支援センター)	
22	地域包括支援センターゆたか園(五台・戸多・芳野地区)		
23	地域包括支援センターナザレ園(額田・木崎・瓜連)	訪問介護	
24	ヘルパーステーション なみき		
25	ウエルシア介護サービス 那珂		
26	ナザレ園訪問介護事業所		
27	指定訪問介護事業所 ごだい		
28	訪問介護ステーション のぞみ		
29	(有)ヘルパーステーションあおいとり		
30	在宅介護サービス えくぼ		
31	訪問介護サービスいきいき		
32	株式会社 N・C・Iカンパニー		
33	訪問介護 ぼっかぼか		
34	ヘルパーステーションふくら愛		
35	ウエルシア介護サービス 那珂		訪問入浴介護(介護予防訪問入浴介護)
36	西山堂 慶和病院		訪問看護(介護予防訪問看護)
37	訪問看護ステーション のぞみ		
38	ナザレ園訪問看護ステーション		
39	訪問看護ステーション こころ		
40	訪問看護ステーションふくら笑顔	通所リハビリテーション(介護予防通所リハビリテーション)	
41	介護老人保健施設 ライブラリーライフ「那珂」		
42	介護老人保健施設 フェニックス那珂		
43	通所リハビリテーション けいわ		
44	通所リハビリテーション事業所「しずみね」		
45	小野瀬医院		
46	岩上記念病院		
47	デイサービスセンター ひばりヶ丘		
48	ナザレ園 デイサービスセンター		
49	デイサービスセンター ひまわり荘		
50	指定通所介護事業所 いきり苑那珂	通所介護	
51	ファミリー ぼっかぼか		
52	デイサービスセンター 元気リハビリ しなやか		
53	ケアステーションあさひ那珂		
54	ケアサポート希望の丘 デイサービスセンター		

No.	名称	業務体系	
55	特別養護老人ホーム ゆたか園	介護老人福祉施設	
56	特別養護老人ホーム ナザレ園		
57	特別養護老人ホーム ナザレ園オリーブ		
58	特別養護老人ホーム ひばりヶ丘		
59	特別養護老人ホーム いきり苑那珂	介護老人保健施設	
60	特別養護老人ホーム藤井ハイム那珂		
61	介護老人保健施設 ライブラリーライフ「那珂」		
62	介護老人保健施設 フェニックス那珂	介護療養型医療施設	
63	介護老人保健施設 第2フェニックス那珂		
64	介護療養型医療施設 岩上記念病院	短期入所生活介護(介護予防短期入所生活介護)	
65	特別養護老人ホーム ひばりヶ丘		
66	特別養護老人ホーム ゆたか園		
67	特別養護老人ホーム ナザレ園		
68	特別養護老人ホーム ナザレ園 オリーブ		
69	特別養護老人ホーム いきり苑那珂		
70	ショートステイ はる風		
71	特別養護老人ホーム藤井ハイム那珂		
72	ケアサポート希望の丘		
73	介護老人保健施設 ライブラリーライフ「那珂」		短期入所療養介護(介護予防短期入所療養介護)
74	介護老人保健施設 フェニックス那珂	特定施設入居者生活介護(介護予防特定施設入居者生活介護)	
75	介護付有料老人ホーム えくぼ		
76	デイサービス いきいき		地域密着型通所介護
77	ふらわあデイサービス那珂		
78	デイサービス はる風		
79	デイサービスまごころの家 那珂		
80	デイサービス野ばら すぎのこ日和		
81	ケアサポート太陽の丘		
82	ケアサポート よこぼり		
83	デイサービス えくぼ		
84	那珂デイサービス ぼっかぼか		
85	デイサービス クリクリ 瓜連		
86	デイサービス 憩の杜		認知症対応型通所介護(介護予防認知症対応型通所介護)
87	ゆたかな郷		
88	小規模多機能ホーム 憩の杜	小規模多機能型居宅介護(介護予防小規模多機能型居宅介護)	
89	小規模多機能ホーム クリクリ		
90	グループホーム ふれあいの家	認知症対応型共同生活介護(介護予防認知症対応型共同生活介護)	
91	グループホーム 榎子木		
92	グループホーム あおいとり		
93	ケアホーム テンダーの杜 なか		
94	ゆたかな郷		
95	グループホーム 憩の杜		
96	グループホーム クリクリ	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	
97	ナザレ園定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所		

図－医療施設立地状況図



表－医療施設一覧

No.	名称	No.	名称
1	あいざわ循環器内科クリニック	31	あくつ歯科医院
2	小豆畑病院	32	小豆畑歯科医院
3	岩上記念病院	33	網野歯科医院
4	うどの眼科	34	市岡歯科医院
5	瓜連慶友整形外科	35	瓜連中央歯科クリニック
6	瓜連中央医院	36	かみが歯科医院
7	えびすいクリニック	37	かわすみ歯科医院
8	岡田クリニック	38	コスモス歯科医院
9	小野瀬医院	39	小林デンタルクリニック
10	小宅内科医院	40	五月女歯科医院
11	木村医院	41	塩野歯科医院
12	栗田医院	42	ししど歯科クリニック
13	河野胃腸科外科	43	白土歯科医院
14	越田医院	44	ちばとう歯科医院
15	さがわ皮膚科	45	中川デンタルクリニック
16	鈴木呼吸器科内科	46	那珂歯科クリニック
17	せき耳鼻咽喉科クリニック	47	那珂デンタルオフィス
18	たに内科クリニック	48	ながしま歯科医院
19	那珂キッズクリニック小児科	49	生天目歯科医院
20	那珂記念クリニック	50	芳州園歯科医院
21	那珂クリニック	51	水口歯科医院
22	那珂中央クリニック	52	村居歯科医院
23	なかむらクリニック	53	山口歯科医院
24	西山堂慶和病院	54	吉川歯科医院
25	ののがき脳神経外科クリニック		
26	はなわ内科クリニック		
27	埴内科消化器科		
28	水野医院		
29	諸岡医院		
30	ルリア記念クリニック		

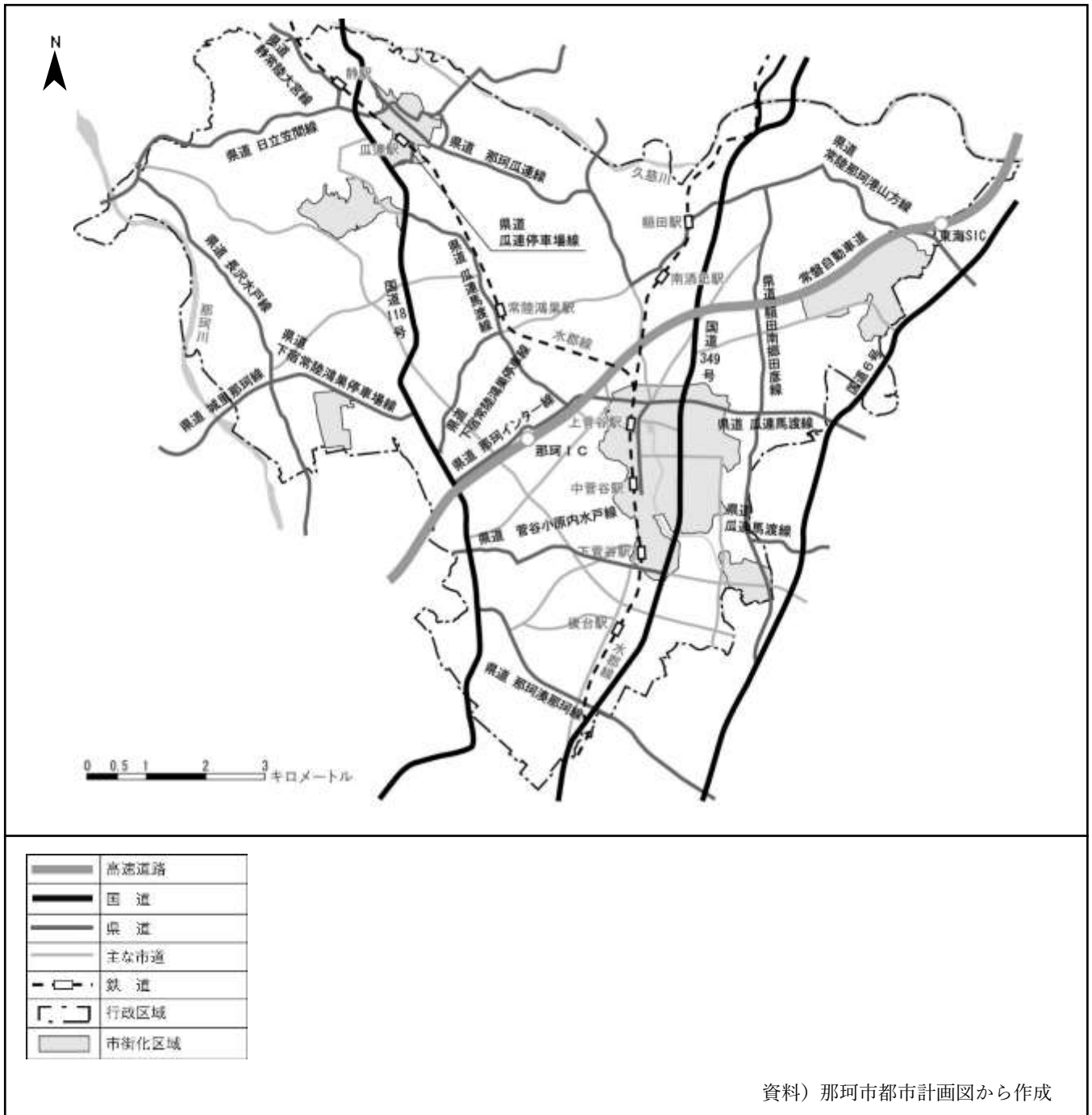
5. 交通

(1) 道路

本市を通過する国道は3路線あり、そのうち、西部の国道118号と東部の国道349号は、市を南北に縦断する水戸方面と県北方面への連携軸としての役割を有し、本市の道路体系の骨格となっています。また、市内北西で国道118号から分岐する県道31号瓜連馬渡線は、市役所や国道349号を経て、ひたちなか方面へと抜ける主要な道路となっています。

また、本市には常磐自動車道が通り、市内に那珂IC及び東海村との境界付近に位置する東海スマートICがあることから、高速道路利用による首都圏域等への利便性も確保されています。

図－道路網図

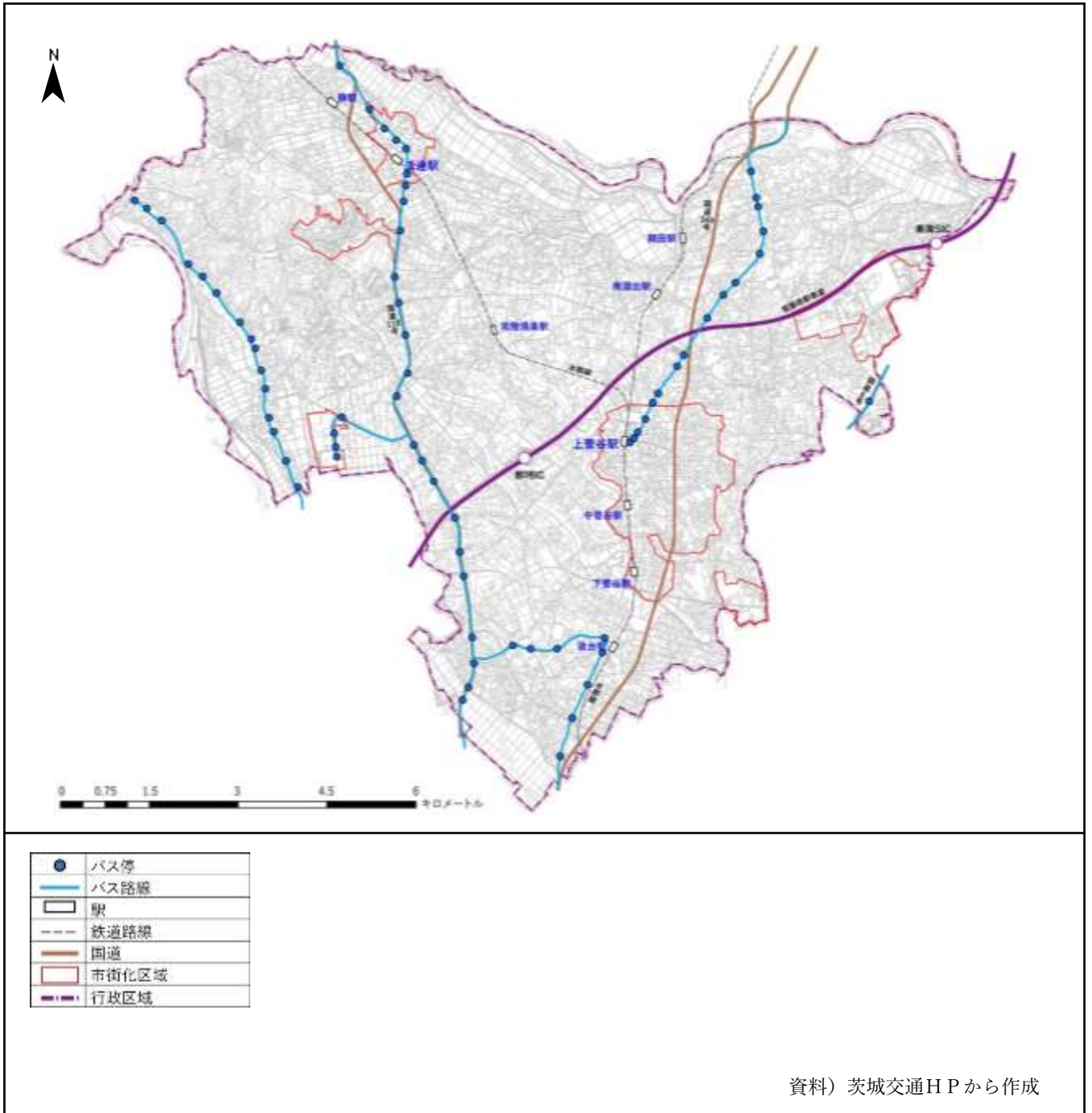


(2) 公共交通

① 路線バス

本市では、現在、茨城交通による路線バスが運行しています。主な路線は、JR 水戸駅起点で、下江戸、常陸大宮市（大宮営業所）までの路線、西木倉から後台を經由する路線、国道6号を通り笠松運動公園への路線、JR 上菅谷駅を起点に常陸太田までの路線など、5路線12系統が運行しており、一日あたりの運行本数は、各路線で5本から8本となっています。

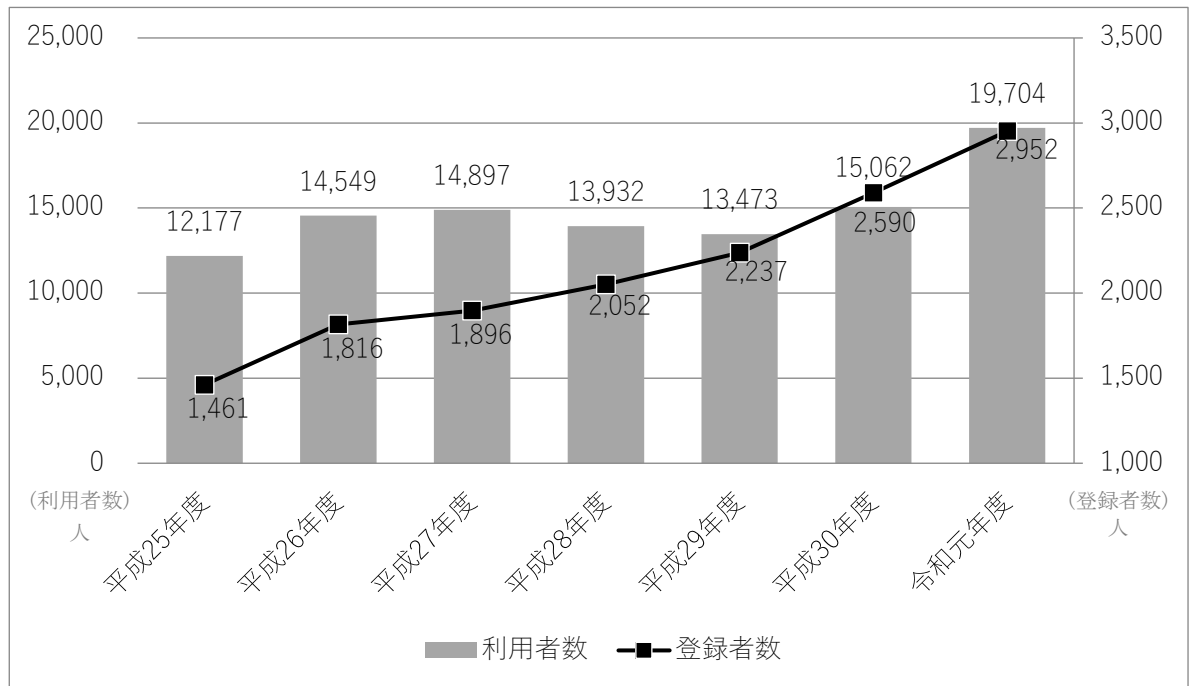
図－市内路線バス等網図



②デマンド交通

2013年度（平成25年度）からサービスを開始しているデマンド交通「ひまわりタクシー」については、ドア to ドアで移動できる交通手段として市民に定着し、登録者並びに利用者は年々増加傾向にあります。2019年度（令和元年度）からは、車両を増台し、隣接市である水戸市への域外運行や土曜日運行などのサービス拡充により、市民にとって利便性の高い交通手段となっています。

図－デマンドタクシー登録者数及び利用者数の推移



資料) 那珂市都市計画課

③高速バス

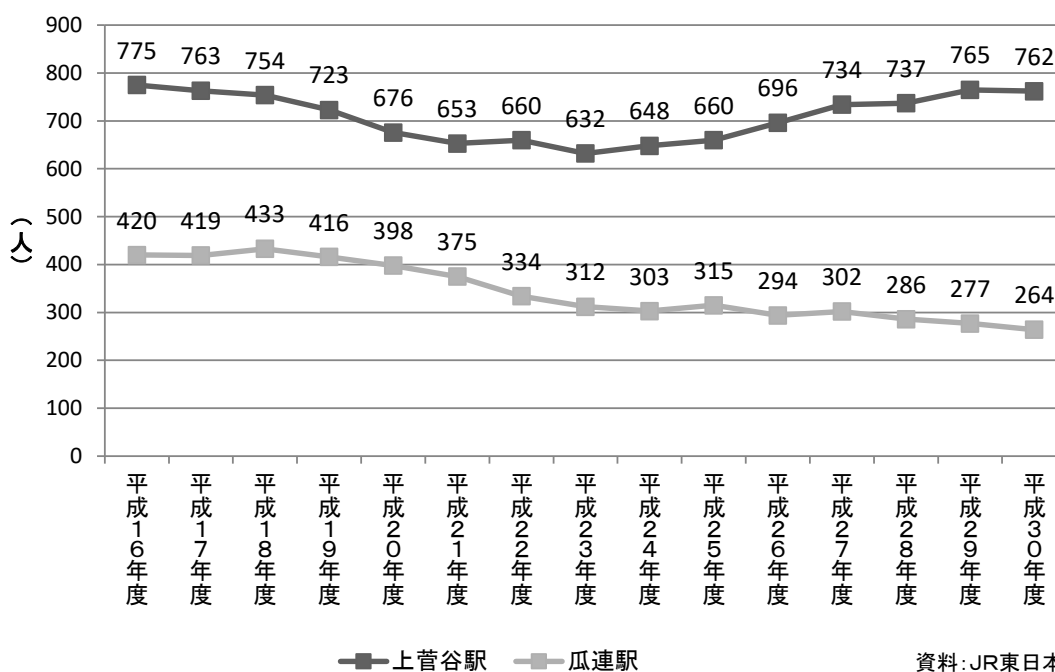
茨城交通により大子・常陸大宮・常陸太田～東京駅・新宿駅間の高速バスの運行が行われています。本市には、額田南郷、那珂市役所入口、那珂インターなど5か所の停留所が設置されており、那珂インター停留所には、大子・常陸大宮・常陸太田の各路線が停車し、1日に11本が往復で運行され、東京方面へのアクセスが向上しています。

④鉄 道

本市にはJR水郡線が通っており、後台、下菅谷、中菅谷、上菅谷、常陸鴻巣、瓜連、静、南酒出、額田の9つの駅が設置されています。特に、上菅谷駅は常陸太田線と常陸大子線の分岐駅としての重要な役割を担っています。

市内の主要駅における1日あたりの乗車人数をみると、上菅谷駅・瓜連駅ともに緩やかな減少傾向を示していましたが、2011年度（平成23年度）以降は上菅谷駅で増加傾向に転じています。

図－主要駅1日当たり乗車人数

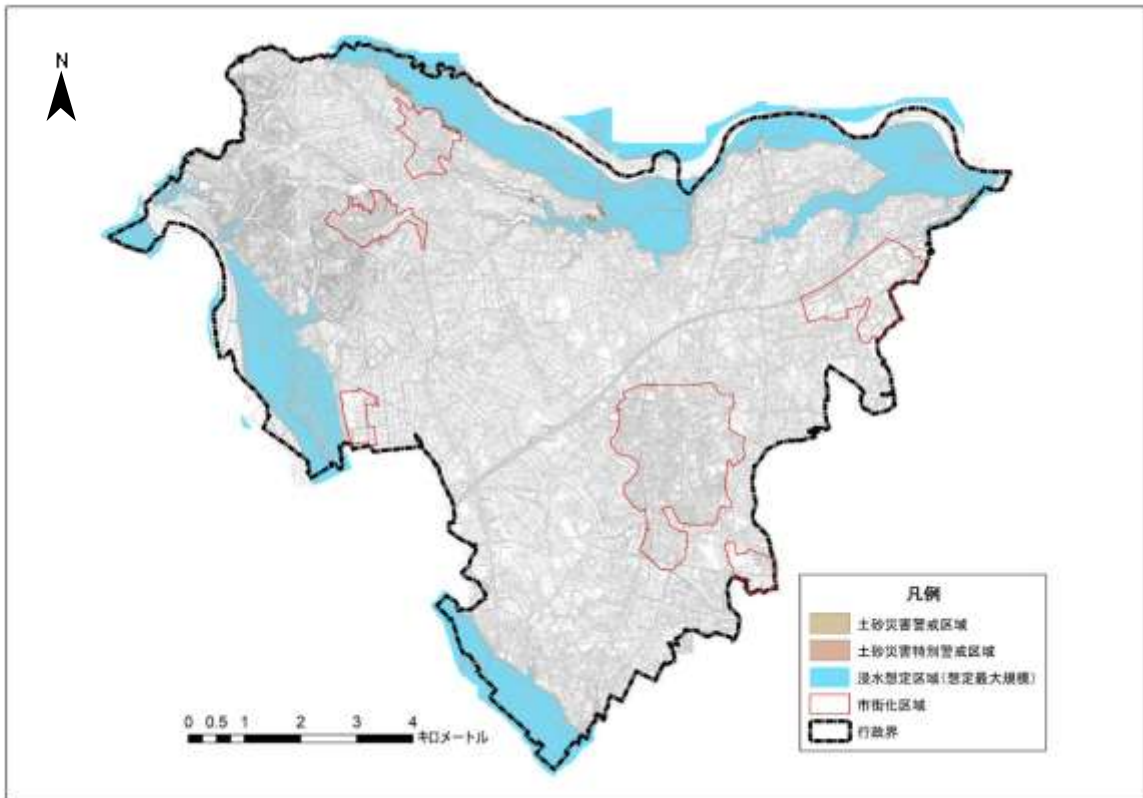


6. 災 害

本市における災害に関する法規制等をみると、土砂災害警戒区域と浸水想定区域が指定されています。このうち、土砂災害警戒区域は、下江戸地区及び久慈川の河岸段丘沿いに指定されており、瓜連市街地北部の一部が含まれています。一方、浸水想定区域については、市街化区域には指定されていませんが、久慈川、那珂川沿岸の低地に指定されており、この区域に集落も形成されています。

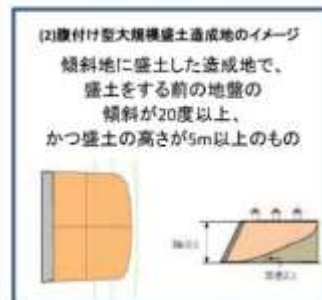
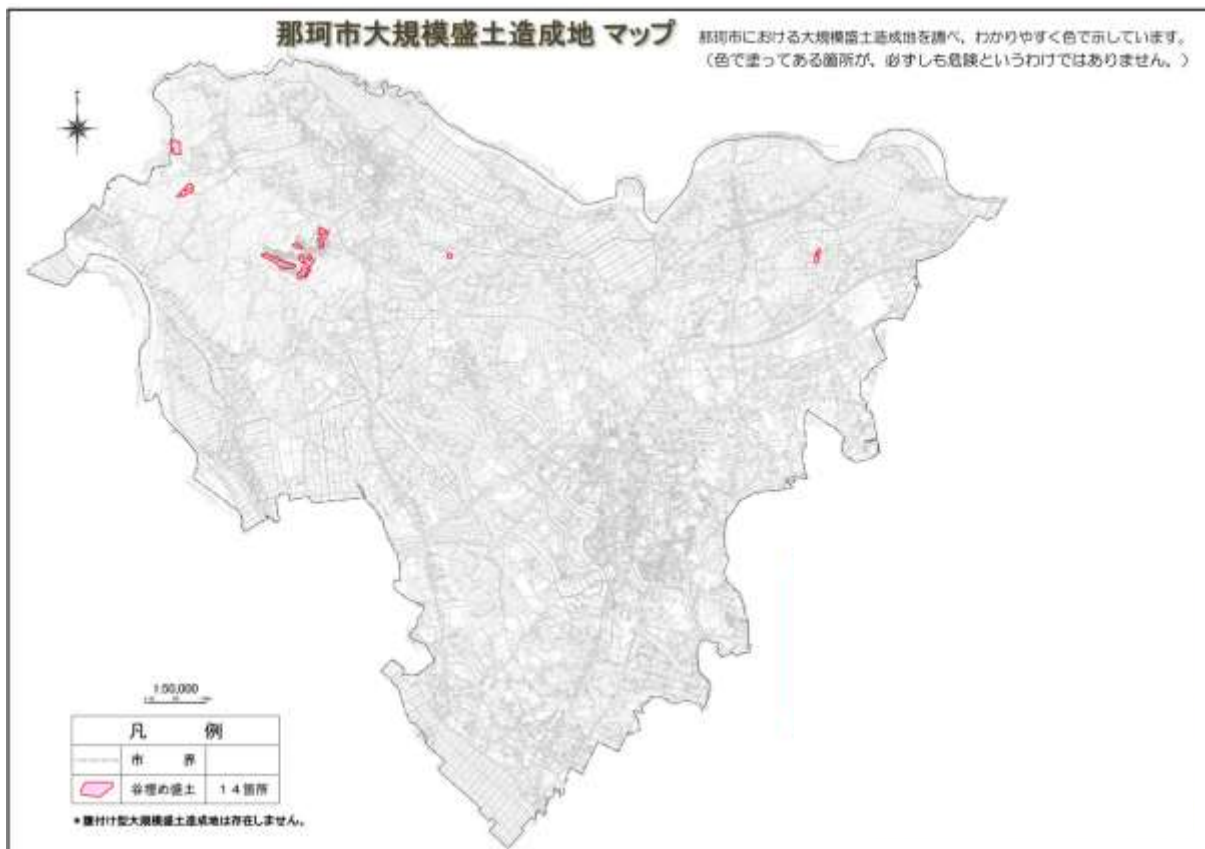
また、大規模盛土造成地についても確認されており、このような災害リスクに対しては、近年の頻発・激甚化に対応した「安全なまちづくり」が求められています。

図－災害に関する法規制状況



資料) 2015年(平成27年)那珂市都市計画基礎調査

図－大規模盛土造成地の状況



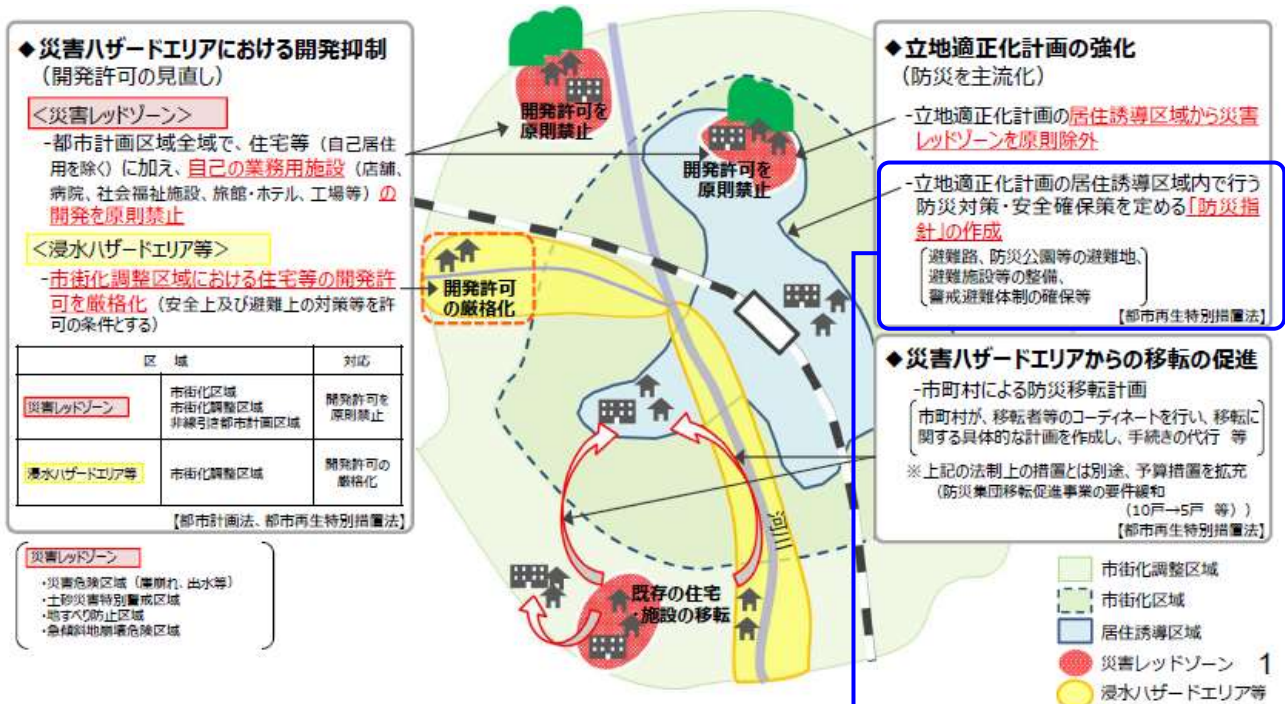
(「大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説」より)

このマップは、宅地造成前後の地形図等の比較により抽出した大規模盛土造成地の位置を示したものです。

【参考－頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」】

頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進など、安全なまちづくりのための総合的な対策を講じることが必要となっています。そのため、立地適正化計画においても、災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定めます。併せてこの指針に基づく具体的な取組を位置づけ、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められています。

図－防災のための取り組みの概要



防災指針の記載 (例)

1. 居住誘導区域内の防災対策

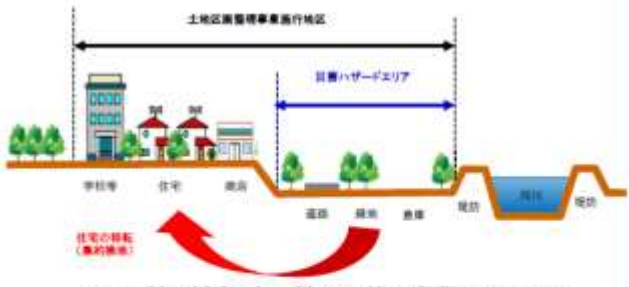
- ① 避難路、避難地となる防災公園、避難施設等の整備
- ② 氾濫の防止や制御のための水災害対策、建物構造の工夫 (高上げ等)、高台や民間ビル等を活用した警戒避難体制
- ③ 水害等に対応した土地区画整理事業
- ④ 宅地の耐震化事業



<避難施設 (例)>

2. 居住誘導区域外等の安全確保策

- ① 災害レッドゾーンにおける開発等への勧告・公表の基準
- ② 災害ハザードエリアからの移転の促進 (防災移転計画等)



※ 「水災害対策とまちづくりの連携のあり方」検討会において具体的な対策を検討。

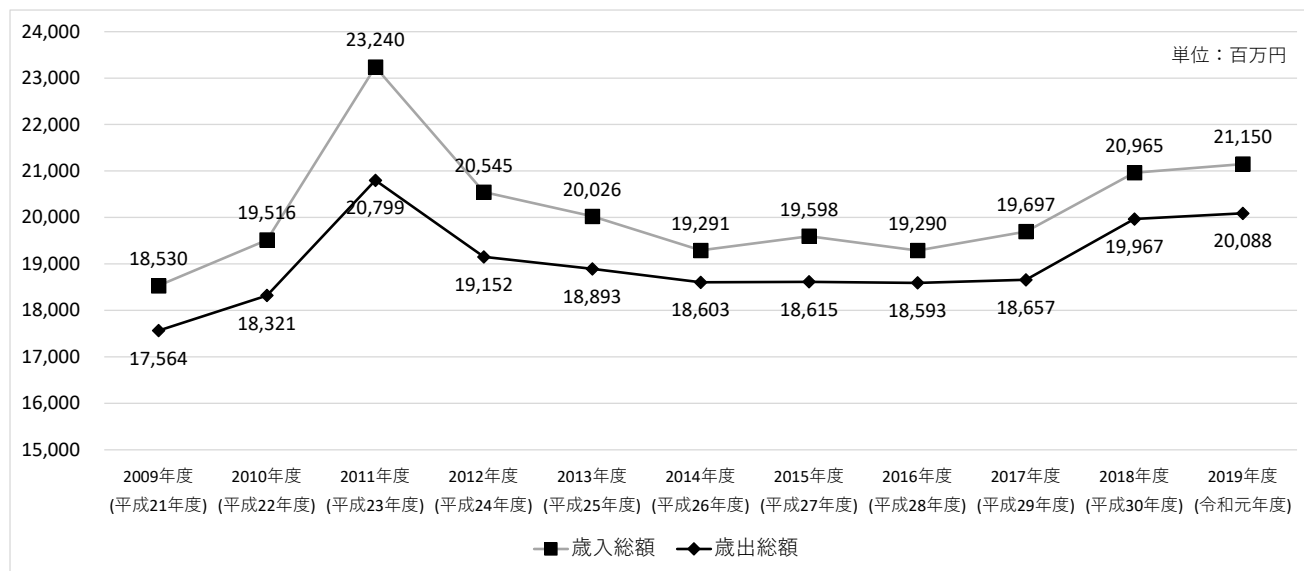
資料) 防災・減災等のための都市計画法・都市再生特別措置法等の改正内容 (案) についてから抜粋

7. 財 政

(1) 歳入・歳出の推移

歳入については、2014 年度（平成 26 年度）以降 190 億円台で推移していましたが、2018 年度（平成 30 年度）にはやや増加しています。歳出についても歳入に連動した推移を示します。

図－歳入・歳出の推移



資料) 財政状況資料集から作成

(2) 財政指標の推移

財政指標については、経常収支比率、財政力指数、公債費負担比率とも大きな変動はない状況で推移しています。

表－財政指標の推移

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
経常収支比率	91.2	87.9	89.2	91.1	90.0	91.7	89.7	91.7	90.9	90.9	93.1
財政力指数	0.70	0.68	0.66	0.64	0.64	0.64	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
公債費負担比率	13.5	13.1	11.3	13.6	13.8	13.7	11.7	12.4	12.8	12.5	11.9

単位：経常収支比率、公債費負担比率－%

資料) 財政状況資料集から作成

(3) 歳入内訳の推移

歳入の内訳をみると、市町村民税、固定資産税とも微増傾向を示しています。構成比をみると、市町村民税が42%前後、固定資産税は45%前後で推移しています。

表－歳入内訳の推移

	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
市町村民税	2,803	2,738	2,885	2,895	2,929	2,899	2,976	3,009	3,007	3,006
個人均等割	78	77	78	79	93	94	95	96	97	97
所得割	2,397	2,337	2,433	2,466	2,451	2,445	2,490	2,541	2,540	2,561
法人均等割	139	135	137	138	143	141	155	154	157	156
法人税割	189	189	236	213	242	219	237	218	214	192
固定資産税	3,297	3,248	3,006	3,024	3,056	2,994	3,105	3,147	3,268	3,295
軽自動車税	114	116	120	123	127	131	157	165	169	176
市町村たばこ税	341	401	396	430	407	406	393	388	375	367
都市計画税	338	337	309	311	315	307	312	317	310	314

単位：百万円
資料) 財政状況資料集から作成

表－歳入内訳の推移（構成比）

	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)
市町村民税	40.7	40.0	43.0	42.7	42.9	43.0	42.9	42.8	42.2	42.0
個人均等割	1.1	1.1	1.2	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
所得割	34.8	34.2	36.2	36.3	35.9	36.3	35.9	36.2	35.6	35.8
法人均等割	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2
法人税割	2.7	2.8	3.5	3.1	3.5	3.2	3.4	3.1	3.0	2.7
固定資産税	47.8	47.5	44.8	44.6	44.7	44.4	44.7	44.8	45.8	46.0
軽自動車税	1.6	1.7	1.8	1.8	1.9	2.0	2.3	2.3	2.4	2.5
市町村たばこ税	4.9	5.9	5.9	6.3	6.0	6.0	5.7	5.5	5.3	5.1
都市計画税	4.9	4.9	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	4.3	4.4

単位：％
資料) 財政状況資料集から作成
※四捨五入の関係で合計は100%になりません。

8. 公共施設等の現況及び将来の見通し(那珂市公共施設等マネジメント計画)

(1) 公共施設の現況(2013 年度(平成 25 年度)末)

市が保有している公共施設は、以下のとおりです。建築物は 403 棟、延床面積は 166 千㎡、建築後 30 年を超えた施設は全体の 37%で、全国平均約 43%に比べてやや下回っています。

表－公共施設の現況

大分類	中分類	施設名		
市民文化系施設(9)	集会施設(9)	ふれあいセンターよしの	ふれあいセンターよこぼり	ふれあいセンターごだい
		那珂市総合センターらぼーる	額田地区交流センター	旧役場庁舎
		戸多地区拠点施設	常陸鴻巣駅ふれあい駅舎	下菅谷まちづくり集会所
社会教育系施設(4)	図書館(1)	那珂市立図書館		
	博物館等(2)	歴史民俗資料館	一の関公園(曲り屋)	
	公民館(1)	中央公民館		
スポーツ・レクリエーション施設(3)	スポーツ施設(2)	瓜連体育館	那珂総合公園(体育館・プール)	
	保養施設(1)	しどりの里※		
産業系施設(3)	産業系施設(3)	直売施設とんがりはっと	芳野農産物直売所	芳野農産工房
学校教育系施設(18)	学校(16)	本米崎小学校	横堀小学校	額田小学校
		菅谷小学校	五台小学校	戸多小学校※
		芳野小学校	木崎小学校	菅谷西小学校
		菅谷東小学校	瓜連小学校	
		第一中学校	第二中学校	第三中学校
		第四中学校	瓜連中学校	
		学校給食センター	瓜連学校給食センター	
	その他教育施設(2)			
子育て支援施設(19)	幼稚園・保育所(8)	菅谷幼稚園	額田幼稚園	芳野幼稚園
		横堀幼稚園	五台幼稚園	菅谷西幼稚園
		菅谷保育所	額田保育所	
	幼児・児童施設(11)	木崎学童保育所	菅谷学童保育所	菅谷西学童保育所
		横堀学童保育所	額田学童保育所	五台学童保育所
		芳野学童保育所	本米崎学童保育所	瓜連学童保育所
		菅谷東学童保育所	子育て支援センター	
保健・福祉施設(3)	高齢福祉施設(2)	高齢者福祉センター	シルバー人材センター	
	保健施設(1)	総合保健福祉センター		
行政系施設(34)	庁舎等(2)	那珂市役所	瓜連支所	
	消防施設(29)	那珂市消防本部・東消防署	西消防署	
		第1分団第1部	第1分団第2部	第1分団第3部
		第2分団第1部	第2分団第2部	第2分団第3部
		第3分団第1部	第3分団第2部	第3分団第3部
		第4分団第1部	第4分団第2部	第4分団第3部
		第5分団第1部	第5分団第2部	第5分団第3部
		第6分団第1部	第6分団第2部	第6分団第3部
		第7分団第1部	第7分団第2部	第7分団第3部
		第8分団第1部	第8分団第2部	第8分団第3部
	木崎水防倉庫	神崎水防倉庫	戸多水防倉庫	
その他行政系施設(3)	本米崎排水機場	下河原排水機場	木崎排水機場	
公営住宅(7)	公営住宅(7)	上宿西市営住宅	中宿市営住宅	鷺内市営住宅
		鴻巣市営住宅	額田第2市営住宅	静駅前市営住宅
		かしま台市営住宅		
公園(6)	公園(6)	宮の池公園	中谷原公園	那珂総合公園
		ふれあいの杜公園	神崎運動公園	静峰ふるさと公園
供給処理施設(6)	供給処理施設(6)	戸崎集落排水処理施設	西木倉集落排水処理施設	門部集落排水処理施設
		神崎額田集落排水処理施設	戸多北部集落排水処理施設	鴻巣集落排水処理施設
その他(9)	その他(9)	那珂聖苑	福ヶ平霊園	瓜連富士霊園管理棟
		静駅トイレ	瓜連駅北口トイレ	瓜連駅南口トイレ
		両宮遊歩道トイレ	古徳沼白鳥見学者用トイレ	那珂市商工会

※休館、閉校

資料) 那珂市公共施設等マネジメント計画

(2) インフラの現況(2013年度(平成25年度)末)

表-インフラの現況

種別	主な施設	施設数
道路	延長	1,149,285 m
	面積	5,554,564 m ²
	橋りょう	186 橋
	橋りょう延長	1,728 m
農業施設	農道	10,975 m
	集落排水処理施設	6 箇所
	〃 (管路)	110,178 m
	〃 (マンホールポンプ)	136 基
公園施設	都市公園	15 箇所
	その他公園	3 箇所
上水道	導水管	7,054 m
	配水管	457,012 m
	浄水場	3 箇所
	取水場	2 箇所
	配水場	2 箇所
下水道	管路延長	212,197 m
	マンホールポンプ	50 基

資料) 那珂市公共施設等マネジメント計画

(3) 公共施設等全体の管理に関する基本的な方針

那珂市公共施設等マネジメント計画では、2044年度(令和26年度)までを対象期間としていますが、公共施設の適正管理に向けて、適正配置による総量縮減の推進、長寿命化の推進、多様な主体による施設サービスの提供という方針が示されており、建物の総延床面積の縮減目標としては、2044年(令和26年)までに15%縮減が設定されています。また、建築物の目標使用年数については、木造以外の建築物について、建築物の目標使用年数を65年とすることが示されています。